

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワークランドそら		公表日 令和 8年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令で定められた職員配置基準を満たした体制を整えています。また、職員の出勤状況やその日の利用状況に応じて、無理のない運営ができるようプログラム内容を適宜見直し、一人ひとりに目が行き届く支援を心がけています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動室内の物品は、利用児童が理解しやすいように表示や配置を工夫し、見て分かりやすい環境づくりを行っています。また、背の低いお子さまが操作しにくい位置にある電気スイッチについては、必要な場所の照明を消さないなどの配慮を行い、安全で安心して過ごせる環境を整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		営業日には毎日、施設内の清掃および消毒を行い、衛生的な環境の維持に努めています。また、年に1回の大掃除を実施し、普段の行き届きにくい箇所も含めて環境整備を行っています。活動内容や利用状況に応じては、パーティションの仕切りを取り払い、活動空間を広げるなど柔軟な工夫を行い、のびのびと安全に過ごせる環境づくりを心がけています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		情緒が不安定になりやすい児童や、集団での活動・環境の中で長時間過ごすことが難しい児童については、その時の様子や気持ちに寄り添いながら、必要に応じて個別で落ち着いて過ごせるお部屋を提供しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		申し送りや職員会議、担当者会議などを通して、職員間で日々の様子や支援内容を共有し、全職員が支援に参画できる体制を整えています。情報を共有することで、継続性のある支援につなげています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者の皆さまを対象とした評価アンケートを実施しています。いただいたご意見やご要望を大切に受け止め、今後の支援や運営にどのように活かしていけるかを職員間で検討し、より良い支援につなげていくよう努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年職員を対象とした評価アンケートを実施しています。職員から寄せられた意見や気づきを踏まえ、より良い支援の提供につなげられるよう内容を検討し、支援の質の向上に努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在第三者による外部評価は実施しておりませんが、理事会での報告などを通じて第三者の目による意見をいただく機会があります。いただいたご意見をもとに、業務や支援の改善に努め、安全でより良い環境づくりを進めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人全体で計画された年間研修への参加に加え、事業所独自の研修や外部研修にも積極的に参加しています。職員の知識や技術の向上を図ることで、より質の高い支援の提供につなげています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		令和7年1月より、当施設の情報をホームページ上で公開しており、その旨を保護者の皆さまにお知らせした上で、掲載を開始しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児童や保護者の皆さまのニーズを把握するためのアンケートを実施しています。いただいた内容をもとに、児童発達支援管理責任者が計画を立て、所属職員と連携して個別支援計画を作成し、一人ひとりに合わせた丁寧な支援を行っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		作成した個別支援計画は、担当者会議で職員間で共有し、その計画に沿った活動を行うことで、一人ひとりに合わせた支援を丁寧に実施しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が支援計画を立て、所属職員がその計画に沿って、一人ひとりに合わせた支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、ソフトウェアを活用したアセスメントを行い、児童一人ひとりの状況や成長に合わせた支援に役立てています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに基づき、すべての支援項目について必要な支援が適切に行われるよう配慮しています。さらに、児童一人ひとりの個別のニーズに合わせて、具体的な支援計画を作成し、丁寧な支援につなげています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月の職員会議や担当者会議を通じて、活動プログラムについて職員がチームで検討しています。児童たち一人ひとりに合わせた活動内容となるよう、職員間で意見を出し合いながら工夫しています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	担当者会議を通じて、季節に合わせた活動や行事を取り入れながら、活動プログラムが固定化しないよう職員同士で話し合っています。児童たちが飽きずに、楽しく充実した時間を過ごせるよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	児童一人ひとりの特性に合わせて、放課後等デイサービスの個別計画を作成しています。それぞれの成長やニーズに応じた支援を丁寧に行うことで、安心して活動に参加できる環境づくりに努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前に必要な申し送りを行い、当日の担当職員に確実に情報が伝わるよう努めています。これにより、児童一人ひとりに合わせた適切な支援を安心して提供できる体制を整えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	当日に行われた活動や支援で気づいた課題については、翌日の放課後等デイサービス開始前までに振り返りを行い、職員間で情報を共有しています。これにより、児童一人ひとりにより適した支援を継続して提供できるよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	利用児童の状況を職員が詳細に記録できるよう周知しており、児童一人ひとりの様子や成長をきめ細かく把握できる体制を整えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	児童発達支援管理責任者と所属職員が定期的にモニタリングを行い、支援内容や計画の見直しが必要かどうかを判断しています。これにより、児童一人ひとりに最適な支援が継続して提供できるよう努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	ガイドラインで示されている「4つの基本活動」を組み合わせながら、児童一人ひとりの特性やニーズに合わせた支援を行っています。これにより、さまざまな視点からバランスの取れた支援を提供できるよう努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動内容や時間の予定をわかりやすく視覚化して提示するなど、工夫を行っています。また、児童からの希望等を聞き取り、一人ひとりに合わせた活動内容を実施することで、安心して参加できる環境づくりに努めています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者が中心となり、サービス担当者会議に出席しています。必要に応じて、所属職員も同席し、児童一人ひとりの状況や支援内容についてチームで共有・検討できる体制を整えています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて関係機関が集まり、児童一人ひとりの状況や支援内容について情報を共有する場を設ける仕組みを整えています。これにより、より適切で連携の取れた支援の提供につなげています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	必要に応じて相談支援センターと連携し、学校とケース会議などの場で児童一人ひとりの状況や支援内容について情報を共有しています。これにより、関係機関と連携しながら、より適切で一貫した支援を提供できる体制を整えています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学前に利用していた保育所や児童発達支援事業所と会議を行い、児童一人ひとりの状況や支援内容について情報を共有しています。これにより、スムーズに支援を引き継ぎ、より適切な支援を提供できるよう努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	必要に応じて卒業後に通所予定の障害福祉サービス事業所と情報共有の会議を行い、児童一人ひとりの状況や支援内容を共有しています。これにより、スムーズに支援が引き継がれるよう努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	児童発達支援センターや放課後等デイサービス事業所と連携し、支援や活動プログラムについて助言をいただきながら、児童一人ひとりに合ったより良い支援の提供に努めています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	これまで、小学校低学年の児童を中心に児童館へ遊びに出かける機会がありましたが、最近では児童の人数やタイミングの関係で外出の機会が減っていました。今後は、時間を調整しながら、活動の中で児童館などへ遊びに出かける機会を増やしていきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	子ども部会に児童発達支援管理責任者が参加し、放課後等デイサービスのワーキンググループには保育士や児童指導員も参加することもあります。職員がチームで連携しながら、児童一人ひとりに合わせた支援や活動の工夫につなげています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡ノートや送迎時を通じて、児童のその日の様子や状況をお伝えしています。必要に応じて、電話でのご連絡や面談も行い、保護者の皆さまとの情報共有を大切にしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族支援プログラムについて理解を深め、保護者の皆さま一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に必要事項の説明を行っています。また、必要経費については、毎月の利用希望票やお手紙を通じて、分かりやすくご説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	毎年、個別支援計画に関するアンケートや個別面談を通じて、お父さまや保護者の意思・ご希望を確認しています。これにより、一人ひとりに合わせた支援を丁寧に行えるよう努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	保護者の皆さまに内容をご確認いただき、ご同意をいただいた上で支援を行っています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	連絡ノートや電話でのご連絡を通じて、日々の支援状況をお伝えしています。また、ご希望がある場合には、面談も行い、保護者の皆さまと情報を丁寧に共有しながら支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	新年会の行事を実施し、保護者同士が交流できる場を提供しました。来年度も、保護者の皆さま同士のつながりや連携を支援できるような行事やイベントを計画していく予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	保護者の皆さまから相談やご要望があった場合には、その都度丁寧に話を伺い、必要に応じて助言や対応を行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	月に1回「そらだより」を発行し、活動の様子やお知らせをお伝えしています。今後も、保護者の皆さまに活動の様子をお届けできる取り組みを継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	他の関係機関と情報を共有する必要がある場合には、個人情報の取り扱いについて保護者の皆さまに同意いただいた上で対応しています。今年度、確認不足で写真公開をしてしまい、今回は評価をいれとさせて頂きました。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	利用児童が活動の予定などを理解しやすいよう、視覚的なツールを活用して情報を伝えています。これにより、子どもたちが安心して活動に取り組める環境づくりに努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	今年度は、地域の放課後等デイサービスと一緒にレクリエーションを行いました。また、餅つき行事の際には地域の方々をお招きし、共に餅つきを楽しむことができました。今後も、地域との交流の機会を計画し、子どもたちや保護者の皆さまに豊かな体験を提供していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	職員には研修などを通じて避難経路や対応方法について周知しています。また、必要に応じて、問い合わせのあった保護者の方に対しても避難経路や避難場所の確認を行うなど、安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	概ね毎月1回、火災や地震を想定した避難訓練を交互に計画・実施しています。これにより、児童たちや職員が安全に避難できるよう、日頃から訓練を通して備えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	保護者の皆さまや相談事業所との面談を通じて、児童の状況を確認しています。これにより、児童一人ひとりに合わせた支援を丁寧に実施できるよう努めています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	現在は該当する児童はいませんが、今後必要な場合には対応いたします。利用にあたっては、保護者の皆さまからアレルギーなどの状況を確認し、それぞれに応じた対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	職員に対して研修などを通じて必要な知識や対応方法を周知しています。これにより、子どもたちに安全で適切な支援を提供できる体制を整えています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画については、職員に対して周知を行っています。保護者の皆さまへの周知についてはまだ十分ではありませんが、今後、安心してご利用いただけるよう、周知の取り組みを進めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットの事例を放課後等デイサービス会議や職員会議を通じて事業所内で共有しています。また、事例集を作成し、職員間で共有・検討することで、課題の改善や安全対策の強化に取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	法人全体での研修会や事業所内での研修を実施し、職員の知識や技能の向上に努めています。これにより、児童たちに安全で質の高い支援を提供できる体制を整えています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	現在、身体拘束が必要となる児童はいません。しかし、今後そのような児童が利用を開始した場合には、十分に協議を行い、ご本人や保護者の皆さまの同意をいただいたうえで、放課後等デイサービス計画に反映し、適切に対応いたします。	